



## 小野市うるおい交流館エクラ グランドオープン!!

ksks Archeが管理運営を受託しているエクラが3月20日にグランドオープンしました。

「小野市うるおい交流館エクラ」を建設そして竣工するまでに、市民の皆様により身近に知って頂くようと昨年の1月より工事用仮囲い壁面ペイントを小野市内の中高生の皆さんに「市民活動および小野市の活性化がイメージできるもの」をテーマに描いて頂きました。それから約1年後新しい市民活動の拠点として整備された同館が平成17年3月20日(日)にグランドオープンしました。502人収容のエクラホールのほか、ハートフルサロン(ステージのある空間)、3つの会議室、サークル室、24時まで利用可能な3種のスタジオがあり、屋外では多目的かつ癒しの空間であるやすらぎ広場があります。

「小野市うるおい交流館エクラ」グランドオープンと「小野市制施行50周年記念式典」が北播磨地域の各市町長、各種団体関係者や市民をはじめ数多くの参加者により開催され午前中は小野市の式典、午後からは市民によるイベント、夜の部ではプロの演奏家による本格的なコンサートが行われました。また、小野市の姉妹都市であるアメリカ・リンゼイ市からエド・マレー市長も式典および「エクラグランドオープン」イベントに出席されました。

「エクラグランドオープン」イベントのエクラホール第1部では、市民グループや地元高校生、保育園児の皆さんによって獅子舞や日本舞踊、ダンスなどエネルギッシュな演技が披露されました。ハートフルサロンにおいては、ハレルヤによるハーモニカ演奏が、続いて春風小イチロー氏による腹話術が催され、童心に戻ることができました。そして、神谷徹氏による「ゆかいなストロームジック」ショーが行われ、ストローの不思議を感じるとともにユーモアを交え楽しいひと時を演じて頂きました。続いて、アン



サンプル Fioritta による今流行の「韓流ドラマ」「冬のソナタ」の演奏、続いてアンサンブルベンジェ・ドヴジェによるクラシック演奏で心穏やかな時間が流れました。

エクラホール第2部は、3幕構成により行われました。

1幕では、音楽監督でもある北野徹氏が大阪音楽大学の卒業生とともに結成されたグループ「北野徹とパーカッショングループ大阪」による様々な打楽器を自由かつ多彩に組み合わせた明るく楽しい演奏が行われました。

2幕では、恵まれた美声と磨き抜かれた技巧での表現力による歌唱で評価の高いソプラノ歌手六車智香さんの優しい歌声がホールに響き渡りました。

3幕では、日本でも数少ない斯界のエキスパートとして高い評価を受けている上塚憲一氏を中心とした、小野市うるおい交流館エクラの常設楽団「チェロアンサンブルエクラ」の12本のチェロから奏でられた音色は聴衆の心に響き渡りオープンの門出を飾って頂きました。

そしてエクラホール第2部と並行して、サロンではビュッフェ形式のパーティーが開催され、蓬萊市長をはじめ関係者並びに市民の方々和やかな時間を過ごすことができました。

華やかにオープンしたエクラですが、その陰には100名以上のボランティアスタッフの協力がありました。朝から夜まで休憩をとることもできない多忙なスケジュールの中、がんばっていただいている姿には頭がさがる思いでした。

また、エクラの周囲はガーデニングボランティアの方々の手によって、きれいな花が飾られました。グランドオープン成功させたというみんなの気持ちがひとつになり、まさに「企画から運営までを住民が主体となって行う」というエクラの趣旨どおり、たくさんの方々の住民の方々に支えられて船出いたしました。

小野市うるおい交流館エクラは、NPO法人北播磨市民活動支援センター(クスクス・アルシェ)が管理運営を行ってまいります。クスクスアルシェの本来の設立目的は、NPO中間支援組織としての活動です。これに加え、活動拠点としてのエクラの管理運営(公設の会館をNPO法人が管理だけでなく、運営を行うことは全国的に見ても極めて稀な事例です。)とともに、行政業務のアウトソーシングの受け皿としての機能があります。

現在、市民活動は、その重要性とは裏腹に、行政からの自立が望まれています。「行政が何をしてくれるのか?」ではなく、「市民自ら何が出来るのか?」を問われる時代になってきています。兵庫県の推進する「参画と協働」の概念を実践できる市民団体の育成こそ私たちクスクスアルシェの存在意義なのかもしれません。

市民による市民のための会館「エクラ」では、スタッフ一同、より多くの方のご利用をお待ちしています。



こけら落としイベント第1弾

## 服部克久with東京ポップスオーケストラコンサート開催!!

4月3日(日)14時より、エクラホールのこけら落としイベント第1弾である「服部克久with東京ポップスオーケストラ」コンサートが開催され、素晴らしいステージを披露していただきました。前日には地元高校生を対象とした「音楽クリニック」が行われ、服部先生とオーケストラの方にご協力いただき、プロの技術と音楽の楽しさを教えて頂きました。また、「写真を撮らせていただきたい」というクスクスアルシェスタッフの無理な要望も快くお受けいただき、更には写真にサインまでしていただくことができました。(大会議室前に展示しています)

コンサートにこられた方には、「親しみやすい音楽と服部氏の楽しいお話に感激しました。もう一度、是非、東京ポップスオーケストラのコンサートに足を運びたい。」など、好評をいただきました。

夢発信委員会を中心としたボランティアスタッフが開催当日まで幾度となく打ち合わせを重ね、当日は受付からケータリングまであらゆる分野の作業をこなし、こけら落としイベント第1弾を成功裡に導いていただきました。また、直接目には触れないところで活動していただいた多くのボランティアの方々によって、このコンサートは支えられていることを、実感いたしました。

